



# 図書館だより

Shizuoka Institute of Science and Technology Library

## TOPICS

### 1. 夏のイベント開催 – 星に願いを 天の川@図書館 –

7月、図書館では、来館した学生・教職員が星の形をした折り紙に願い事を書いて、“天の川に浮かべる”イベントを開催しました。天の川や、願い事を書く星の折り紙は、LAの学生と職員とで協力して制作。コンシェルジュ学生が制作した「世界の七夕」「夏の夜空」のパネルもあわせて展示するなど、夏の夜空や七夕にちなんだ行事を楽しみました。



### 2. 学生選書ツアーを実施しました

学生の夏休み期間を利用し、9月16日（火）谷島屋書店浜松本店にて学生選書ツアーを実施しました。選書ツアーに応募したLAほか4名の学生と図書館職員が直接店舗に出向き、本学学生向けの専門書、教養書、文芸書など、様々な本を手に取りながら選んでいきました。今回参加者が選書した図書43冊は、一部に学生の推薦コメント付きのカードを添えて図書館内に展示しています。気になる一冊に出会えるかもしれません。ぜひご覧ください。

### 3. コンシェルジュ選書図書を展示中 [ブログ記事掲載](#)

図書館内で学習支援を行っているコンシェルジュ学生7名が、日頃の学修で必要な本や教養書など、学生に薦めたい本を学生目線で選び、自作のPOP付きで紹介・展示しています。今回はAI関連を始めとする情報学や建築学等の専門書、ビジネス書ほか計21冊、幅広い分野の本が並んでいます。

- \* 「貸出中」の場合はマイライブラリから予約ができます。
- 選書リストはWeb本棚”ブログ”からご覧いただけます。



[Web本棚”ブログ”](#)

学生選書ツアーとコンシェルジュの活動について、詳しくは、図書館ウェブサイトの「活動状況（ブログ）」に記事を掲載しています。

### 4. 「SIST 秋の読書キャンペーン」 「図書館でグリーンキャンペーン」開催

9/19～11/7の期間で、“SIST 秋の読書キャンペーン”を開催しています。期間中に借りた本について「コメントカード」を記入し、提出してくれた学生には、学生ホールカフェのドリンクチケットをプレゼントします。また、今年度は静岡県グリーンバンク主催の「図書館でグリーンキャンペーン」を共催。10月下旬からの読書週間に本を借りた方には、割り箸やしおり型の花の種の配布を予定しています。この期間にたくさんの本を読んで、ドリンクチケットや割り箸・花の種をゲットしましょう。

- \* 割り箸と花の種の配布は、なくなり次第終了します。
- キャンペーンの詳細は、図書館ウェブサイトや館内掲示板でお知らせします。

### 5. 大学関連の書籍のご紹介

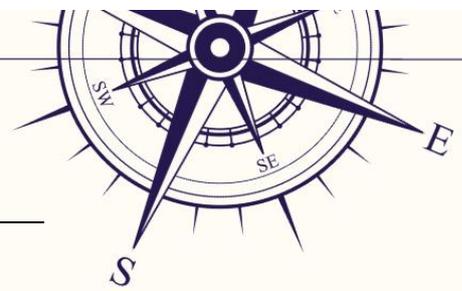
○情報デザイン学科 本多明生 先生翻訳  
『世界標準の1 on 1  
科学的に正しい「対話の技術」のすべて』  
ステーヴン・G・ロゲルバーグ著、  
ディスカヴァー・トゥエンティワン、2025.6  
所在：展示架 336.4/R62

○静岡理科大学 静岡航空資料館 掲載  
『地球の歩き方 静岡 2026-2027年版』  
地球の歩き方編集室著作編集、  
地球の歩き方/Gakken、2025.8  
所在：南閲覧室 290.9/C44

# 読書への羅針盤

伊藤 明倫 先生 (情報デザイン学科) に聞く

「ジャンルを越えて」



今回は情報デザイン学科に所属されている伊藤明倫先生にお話を伺いました。

伊藤先生は映像インスタレーションやメディアアートといった先端アートを専門とされています。先生がこの分野を専攻するようになったきっかけは、大学時代に教科書として使用していた『20世紀イメージ考古学(伊藤俊治)』の影響が大きいそうです。この本にはジャンル、時代を越えて、様々なアートが紹介されており、先生はそこから多くの考え方を学び、今のメディアアート制作につながっているとのことでした。

伊藤先生の少年時代についても伺いました。先生は絵や漫画を描き、ファンタジー小説をよく読んでいたそうです。その中でも身近な生活や景色が登場する『霧のむこうのふしぎな町(柏葉幸子著)』や『だれも知らない小さな国(佐藤さとる著)』などの日本の作家の作品を読み、そこから得たイメージを絵や漫画に描いていたそうです。幼いころからアートや物語の世界に親しんでいたことがうかがえます。

また、最近読まれた本で面白かった本として『デザイン・アートの基礎課程 (ルーシー・アレクサンダーほか)』を挙げられました。この本には様々なアート・デザインのレッスンや考え方が掲載さ

れており、デザインなどに興味がある生徒にとって、学びの多い1冊だそうです。この本は図書館に置いてありますので、興味のある方は是非手に取ってみてください。

最後に、理工科大学の学生についてどのような印象をお持ちなのかお聞きしたところ、「素朴で素直」とのお言葉をいただきました。しかしコミュニケーションが少ない学生も多い印象を持っているそうです。キャンパスに来て、人と会うことで刺激を受けたりすることを大学時代に経験してほしいとのことでした。他にも各地で開催されている展覧会や美術館などに行ってみることや、それ以外にも外へ出ることによって SNS から得られる自分に最適化されている情報ではない新しい情報を取り入れて吸収してほしい、とも話してくださいました。先生ご自身も休日は愛犬のすももちゃんと遊ぶことや様々なお店を巡ることで新しい刺激を得ているそうです。皆さんも外へ出て、気になっていた施設やお店に足を運び、新たな刺激を得てみるのはどうでしょうか。

伊藤先生、今回はお忙しい中お話を伺いいただき、ありがとうございました。

【所在】『デザイン・アートの基礎課程』図書/北 707/A41

インタビュー・記事：情報デザイン学科2年 西山楓

私の選んだ一冊

## 『近畿地方のある場所について』 背筋著

雑誌の記事、読者からの手紙、インタビューなどの形式の短編が載っていて、その情報をもとに本筋が構成されている。人の認識によって、理不尽に人は怪異になる。怪異に堕ちてしまった人がいる。声をかけただけ、若い女性ただただで、ナニカに見つかる。母の愛は狂気になり、霊能者すら諦める神的存在が静かにこちらを見ている。それは怒りでも憎しみでもなく、ただ確実に、音もなく、絶望だけが迫ってくる。短編同士が少しずつつながり、読者の心にじわじわと纏わりついていくような小説。  
(物質生命科学科4年 飯山紗弓)

## 『コンビニ人間』 村田沙耶香著

『コンビニ人間』は、社会の「普通」を読者に問いかける小説です。主人公は36歳独身で、大学時代からずっとコンビニでアルバイトを続けており、周囲からは「正社員にならないのか」「結婚しないのか」といった視線を向けられるが、本人はコンビニバイトという小さな社会に充実感を見いだしています。彼女が「普通」から外れているのか、それとも社会が彼女を異物として扱っているのか、考えさせられる小説です。社会に適応するとはどういうことか、自分の幸せをどう定義するかを改め直すきっかけになります。就職や将来を意識し始める大学生にとって、特に読んでほしい一冊です。  
(コンピュータシステム学科2年 松原聡紀)

# 一手指南

## 推薦図書

### 『名曲で学ぶ対位法：書法から作編曲まで』

柳田孝義著 (音楽之友社)

コロナで自宅に引きこもることが多くなった際、中学生の頃に習っていたクラシックギターを久しぶりに再開しました。中学生の頃はギターの先生から与えられたソル、カルカッシ、タレガのエチュード(練習曲)をひたすら楽譜通りに弾くことに専念していましたが、この年になって「何故このようなメロディにこのような伴奏をするのだろうか」という疑問がわきました。

高校生の頃ピアノで伴奏やソロを自在に編曲できる友人がいて、音大受験をするという話を聞きました。「受験科目に和声学と対位法があるため、それらを音楽教室で学んでいて、添削してもらっている」ということを聞いたことを思い出し、音楽の古典である対位法の書籍を購入しました。現在主流の和声学でなく、古びた対位法をあえて学ぶところがミソです。

この本を読んでルールや禁則事項を学び、例題も解説が豊富なので理解に努めました。詰め将棋のようにあちらを立てればこちらがたたずというパズルのような感じでした。中学の音楽の期末試験対策で勉強した根音に対して度数がいくつの音(ハ長調の場合、ドが根音ならレは2、ミは3、ファは4など。ソが根音ならラが2、シが3、ドが4など。)とかを思い出すのに良かったと思います。「対位法の理論を学んだ後は、添削をしてくれる先生に指導を

受けた方が良い」とこの本に書かれておりましたが、進研ゼミのように添削をこの年でお願いするのは非現実的です。そこでネットで検索してコンピュータで自動添削してくれるサイトを探しました。洗足学園音楽大学の『地球の旋律線～対位法学修支援ソフトウェア』とこの書籍の併用でようやく徐々に理解が進んでいきました。紹介した書籍と対位法学修支援ソフトウェアを往復することで、ぼんやりと理解できるようになっては来ましたが、問題によっては0点に採点されます。たまにこのサイトで学習しないとすぐ忘れてしまいます。

高校生の頃、音楽は才能だと思っていましたが、「弾く技術だけでなくこういった理論も小中高の頃には友人は勉強していて努力していたのだなあ」と改めて感心しました。今現在では娘達のリクエストに応じてクラシックギターで演奏できるように編曲して譜面を作って弾いております。現在ではコンピュータで演奏する DTM(デスクトップミュージック)も安価に入手できるので、ここで紹介した対位法の書籍や和声学の書籍を勉強して、編曲や作曲にチャレンジしてみたいかでしょうか? 年齢を重ねてから音楽を始めてみることもいいのではないかなと思います。

【所在】図書/北 761.6 / Y53

### 新着図書紹介

学

イン・ザ・メガチャーチ  
朝井リョウ著, 日本経済新聞出版

書くことのメディア史  
AIは人間の言語能力に何をもちたすのか  
ナオミ・S・パロン著, 古屋美登里 山口真果訳, 亜紀書房

学

創作のミライ 「初音ミク」が北海道から生まれたわけ  
井上響著, KADOKAWA

イノベーション 普及する条件 (岩波新書)  
天野友道著, 岩波書店

ごみと暮らしの社会学 モノとごみの境界を歩く  
梅川由紀著, 青弓社

歩くマジで人生が変わる習慣  
池田光史著, News Picks

専門書を読む 教員と学生でつくる100講座  
吉田文/濱中淳子/渡邊浩一編著, ミネルヴァ書房

学

日本の絶景パレット 100色をめぐる旅  
永岡書店編集部編著, 永岡書店

学

燃えられない症候群  
堀田秀吾著, サンマーク出版

そのほかの  
新着情報



学

いきなりプログラミングAndroidアプリ開発  
Sara著, 翔泳社

学 学生選書ツアー  
選書図書

「おすすめの本ありますか？」

図書館 古橋裕子

私の職業を知った初対面の方に、よく聞かれる質問です。

さて、どのように答えよう。それまで交わした会話をもとに、頭の中のいろいろな引き出しを開けて、考えます。ほとんどの方は軽い気持ちで聞いているでしょうが、この質問は、とても難しいのです。その人が、どんなことに興味があるのか、これまでどんな本を読んできたのか。それらの情報がない段階でおすすめの本を紹介

て、適切に紹介できるようにします。そんなときに頼りになるのが国立国会図書館が運営する「レファレンス協働データベース」。全国の図書館に寄せられたレファレンスの事例が検索でき、調べ方の参考になります。また、レファレンスの珍事例を集めた『100万回死んだねこ』覚え違いタイトル集』という本も出版され、本好きの間で話題になりました。（このタイトルの面白さ、わかりますか？）興味のあ

る方は検索してみてください。  
友人や家族、先生から紹介された本に興味を持ったら読んでみる。書店員さんが書いたPOPを見て、手に取る。動画サ

介するというのは、好き嫌いやアレルギ一を知らずに「シエフのおすすめ」料理を提供するのに近いものがあるからです。せっかく紹介したのに、好みに合わなかったら：などと考えこみそうになるのを抑えて、最近の人気作を紹介しがちです。

図書館のお仕事のなかで「本の紹介」といえば、「レファレンス（参考調査）」です。これは、学習・調査・研究のために必要な資料を、利用者の求めに応じて調べ、提供するものです。利用者がどのような情報が必要としているのか、どこまで調べたのか、質問によって明らかにし、司書の頭の引き出しや検索ツールを駆使し

イトやSNSへの投稿、書評サイト、知的書評合戦バトルなどを通じて自ら本の感想や紹介を発信したり、他の人の目線での紹介や感想を見たりすることもできる。本との出会いの場は、ますます多様になっています。Aに指示して本を紹介してもらうこともできますが、読んだ「人」の目線を通して本を知ることの楽しみも、味わっていききたいですね。あなたもぜひ、周りの人に聞いてみてください。

「おすすめの本ありますか？」



## LIBRARY CALENDAR



開館時間： ■ 9:00~18:00 ■ 9:00~20:00 ■ 9:00~16:00

■ 休館日

10 月							11 月							12 月							2026年 1 月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	1	2	3	4	・	・	・	・	・	・	1	・	1	2	3	4	5	6	・	・	・	・	1	2	3
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
26	27	28	29	30	31	・	23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31	・	・	・	25	26	27	28	29	30	31
・	・	・	・	・	・	・	30	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

- ◆10月13日、11月3日、24日（祝）は授業日につき開館 9:00~18:00
  - ◆10月25日（土）-26日（日）は大学祭、2026年1月24日（土）は試験期間中につき開館 9:00~16:00
  - ◆【休館】大学祭準備 10月24日（金）/27日（月） | ◆【休館】冬期休業 12月23日（水）~2026年1月4日（日）
- ※開館カレンダーは、状況により変更される場合があります。最新の情報は図書館ウェブサイトをご確認ください。

【編集後記】抹茶が世界的に人気になり、価格が高騰しているとのこと。抹茶味のチョコレートや抹茶ラテなどは日本土産の定番であり、海外でも抹茶商品を見かける機会が増えています。袋井市内の茶畑では後継者不足による耕作放棄地が年々目立つようになってきました。様々な課題はあると思いますが、この抹茶ブームが若い世代が茶業に興味を持つきっかけになることを願います。